

# みやぎ街道交流会 会旗デザインコンセプト

みやぎ街道交流会の会旗が右写真のとおり中・小の2旗が完成いたしました。

宮城県や仙台をイメージする様々な要素を組み合わせて、会の活動理念や活動フィールドを力強いデザインで表現しました。

上サイズ：H40×W60 (cm)

下サイズ：H70×W105 (cm)

デザインの概要を以下にご紹介します。



## 九曜紋 / kuyou-mon

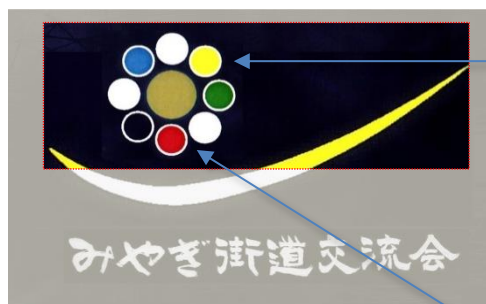
仙台藩に伝わる家紋の1つ。九曜の語源は古くはインド天文学が扱う9つの天体とそれらを神格化した神に起因します。シンプルな円の構成が現代的でシンボリックな印象を与えることから、本デザインのメイン構成要素として採用しました。

## 水玉模様 / Polka dot

九曜紋を構成する円形は、仙台藩ゆかりの水玉陣羽織を参考に色付けしました。この6つの色が持つ印象をもとに、当会の活動理念に基づくキーワードを組み合わせることで、ストーリーのあるデザインに仕上げました。

### [色に込めたイメージ]

赤/red …人・地域・活力・集う  
緑/green …自然・植物・山並み  
黄/yellow…豊かな稲穂・食文化  
青/blue …東北の雄大な空や海  
白/white …未知・未開拓の領域  
銀/gold …歴史・知る・学ぶ

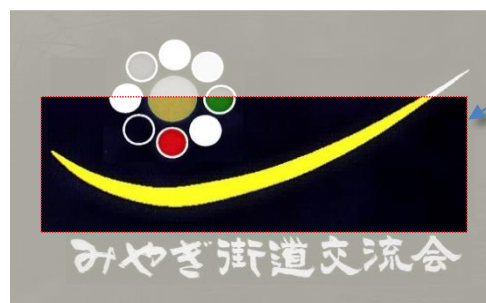


## 政宗の上弦月 / Crescent of Masamune

伊達政宗の兜の前立てにある上弦月。力強い上弦月を中央に配置することでデザインに奥行きを持たせるとともに、宮城県や仙台の歴史を題材とする当会の活動フィールドを表しました。

## 揮毫 池田僊雲 / Senun Ikeda

大正15年から続く書道研究会「書禅会」の4代目会長。みやぎ街道交流会の会旗制作にあたり、デザイン主旨を踏まえ力強くシンボリックな楷書体で揮毫いただきました。



(H29年10月25日)